



日常生活に支援を要する高次脳機能障害者の暮らしを考える

H i g h e r B r a i n D y s f u n c t i o n
高次脳機能障害をもつ
人と家族の、今とこれから

参加費無料
定員100名
[先着順]

会場
調布市文化会館
たづくり
[大会議室]

主催●脳損傷・高次脳機能障害 サークルエコー

助成●ゆめ応援ファンド

後援●東京都／調布市／稲城市／狛江市／小金井市
／府中市／三鷹市／武蔵野市／調布市民生児童委員
協議会／東京慈恵会医科大学附属第三病院／南多摩
高次脳機能障害支援センター／NPO法人東京高次脳
機能障害協議会／NPO法人日本脳外傷友の会／東京
ボランティア・市民活動センター／東京パイロットクラブ

10|19
Sun.

10:20 [受付開始] ～ 16:20

サークルエコー15周年記念公開シンポジウム

シンポジウムの開催にあたって

1998年に設立した脳損傷・高次脳機能障害 サークルエコーは、皆様のご理解とご協力のおかげで15周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

当会は、当事者・家族の輪を作り、声を届けることで、認知機能や情動、発動性の障害が重く、日常生活にも介助が必要な高次脳機能障害者の問題を提起してきました。そして、こうした活動を通して、彼らは安心できる環境で適切なサポートがあれば力を発揮したり、穏やかな生活を送ることができるということが分かってきました。

近年は介助者の年齢に伴う問題や一人が複数の家族を支える多重介護等が生じているだけでなく、AEDの普及等で低酸素脳症による重度の高次脳機能障害者の相談も増えてきています。しかし、適切なサポートを受けられている当事者は決して多くありません。

そこで、生活支援が必要な脳損傷者と家族の課題、および当事者の可能性を知っていただくために、シンポジウムを開催し、障害があってもその人なりの充実した生き方ができる社会のあり方について考えていきます。

会場ACCESS



調布市文化会館たづくり

東京都調布市小島町2-33-1

京王新宿線「調布」駅から徒歩3分

駐車場あり【料金100円/30分】* 障害者手帳提示で免除あり

PROGRAM

10:40～11:00

サークルエコー15年のあゆみ……………田辺和子 [サークルエコー共同代表]

11:00～12:00

低酸素脳症のリハビリテーション……………渡邊修氏 [東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授]

……低酸素脳症は心筋梗塞、喘息発作など様々な疾患から生じ、重い高次脳機能障害が残ることもあります。

低酸素脳症の特徴、リハビリテーション、薬の使い方などを分かりやすく説明します。

13:00～14:20

当事者との24時間の関わりから見えてきた可能性と課題

………山河正裕氏 [豊中きらら福祉会「工房羅針盤」施設長] / コメンテーター・赤塚光子氏 [全国障害者生活支援研究会会長]

……日中は作業所、夜はグループホームで高次脳機能障害者を支えてきた大阪にある法人の実践と地域とのつながりについて紹介します。

14:30～15:50

私たちの今、そしてこれから……………高次脳機能障害をもつ人とその家族

……当事者の日常生活と家族の関わり方をコーディネーターが引き出ししながら、それぞれの「これから」について語り合います。

お申し込み方法

- * 事前申し込みを受け付けます。以下のメールアドレスにお申し込みいただく方の情報(①～⑥)を記載してお送りください。
- * 定員に達しない場合は、当日の参加申し込みも受け付けます。

echo15sympo@gmail.com

- ①お名前(ふりがな) ②性別 ③住所 ④電話/FAX番号 ⑤勤務/所属先
- ⑥お立場(当事者・家族、行政、医療、福祉、関係団体、学生、その他)(左からお選びください。複数選択可)
- ⑦車いすのご利用の有無



- * お申し込み後、受付確認メールが届きますので、ご確認ください。
- * 携帯電話をお使いの場合、セキュリティの関係で確認メールが届かないことがあります。セキュリティを解除するか、パソコンを利用するなど確認メールが受信できる環境でお申し込みください。
- * 個人情報、本シンポジウムの運営のために使用します。

お問い合わせ先・TEL0422-51-4137(担当・高橋)